

技術と光 線映像

増加した 成人型アトピー性皮膚炎

私が医学学生であった昭和30年代の前半は、アトピー性皮膚炎は乳幼児湿疹とか小児湿疹と診断されており、ステロイド療法はありませんでしたが、経験論から、小学校までに患者の大半は軽快し、思春期まで持ち越すのは稀でした。しかしそうしたステロイドが使われるようになって数十年を経て、成人になっても治らない患者が多いと、以前は考えられないことが起っています。

として使われています。しかしこれを境にアトピー性皮膚炎は治りにくく再発を繰り返すようになり、また加齢に伴いステロイドが効きにくく発疹が顔面に及ぶ患者も増えています。そのためステロイドの効果を高める治療法が工夫されていますが、やはり効果は一時的で満足するには程遠いのが現実です。

なつたのではないでしようか。しかし皮膚科学会は現状をいかがわしい民間療法が正しい治療（ステロイド療法）を受ける機会を患者から奪つたことにあると責任を転嫁しています。しかしステロイド療法で治らないから民間療法を頼るのでです。実際ステロイド療法に得心が行かな

元明 制し自然治癒力を促す効果があるためです。 サナモア光線療法はアバ療法の原理を応用した治療法ですが使い方は異なり、フルスペクトル光線を長期に連続して使用し、過敏症を抑制すると共に自然治癒力を高めてアトピー体質を改善し、最終的に治癒に導く対症療法の域を越えた治療法です。ただしステロイドのような即効

ず効果を体験できます。そのためにも治療法、治療経過で疑問や不安がありましたら、是非ともお近くの治療院か当協会までお問い合わせいただき安心して治療を続けて下さい。

なほ光線治療院では多灯照射で光線療法を受けられますので、比較的早い段階で効果が期待できますので、治療院で体験するのも一つの選択肢としてお薦めします。

ステロイド療法の限界

私が医師になつたのと前後して用いられるようになったステロイドは、アトピー性皮膚炎でも即座に症状を改善する、それまでの医学常識

このようにアトピー性皮膚炎が治りにくくなつた一半の理由は、ステロイドの過敏症を強力に抑制する薬理作用で見掛けは症状をなくしても、却つて病気は内攻し自然治癒力が働かなくなつたのである。

サナエア光線療法は必ず効く

いから藁をも掴む気持ちでサンモア光線療法を受け心から喜んでいる患者は決して少なくありません。私は皮膚科学会がステロイドを唯一効果のある薬と過大評価せず、ステロイドの限界結果について検討すべき時が来ていました。

性はなく、効果を実体験するには越えないとならない壁があります。

発行所
〒153-0063
東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行
会費年500円
電話 東京(03)
3793-5281
3712-5322

一病 息災

一病 息災

股関節の病気

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

病気の解説

股関節は人体における最大の荷重関節であるため、関節周囲は関節唇とその周囲の強力な靭帯によって包まれ非常に安定しています。が、傷害された場合には、日常生活に重大な支障を引き起こします。

これは、股関節における関節軟骨に何らかの変性が生じた状態で、原因によって、一次性（特発性）と三次性に分類できます。本邦では、二次性股関節症、なかでも発育性股関節脱臼あるいは臼蓋形成不全による関節の形態異常に起因するものが80%以上を占めています。次に、本症の大腿骨頭壞死症ですが、読んで字のごとく、大腿骨頭が循環

不全により壊死に陥る病気です。壊死発症の原因の明らかな症候性大腿骨頭壞死症と、発症に至る明らかな原因を特定できない特発性に分類され、特発性には、ステロイド性とアルコール性があります。本症は、長年ステロイドを内服していた既往があるため、ステロイド性の大腿骨頭壞死症と考えられますが、ステ

ロイドの長期運用による副作用療法をお試し下さい。
* * *
その前に、是非、サナモア光線

症例：73歳、女性

主訴：歩行時に右股関節痛。杖を使えば階段の昇降は可能。

起始・経過：3年前に再生不良性貧血にて入院加療後、プレドニン5mg内服し経過観察されていた。平成12年4月頃から歩行時の右股関節痛を認め、整形外科を受診し大腿骨頭壞死症と診断されたが、手術を拒否しサナモア光線療法で治したいと希望され11月に来院した。

治療：①左側臥位にて30分

右股関節を2灯で前後からはさむように照射し、足裏、膝も同時に照射した。

②仰臥位にて20分

左右の股関節、左右の大腿部から膝までを4灯で照射。

ABカーボンで始めて、3回目から股関節にはBDカーボンを使用した。

経過：当初、週に1回のペースで治療を開始したが、3回終了後に、寝返りが楽になり改善を自覚。8回終了後には、歩行に自信がもて、速歩も可能となり、11回終了時点では、患側の足を組んで、靴下をはけるようになった。この頃から、光線療法の効果を確信し、現在は週に2回来院している。

病気と光線療法

股関節の病気に対し、サナモア光線療法は、全身の血液循環を改善するとともに、局所の関節や筋肉を柔らかくし、筋緊張状態を解くため、著明な鎮痛効果を発揮します。その効果は、初回治療から自覚されますが、良好に維持するためには、最低でも五回以上の治療が必要となります。また光線療法は、発病初期の変形が軽度な時期から始めた方が、より効果的ですので

の一つなのです。

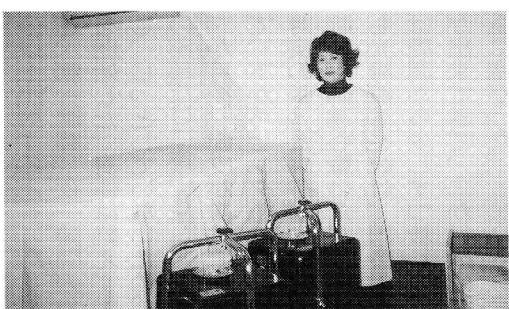
第四期サナモア光線治療師養成講座開講のご案内

第四期サナモア光線治療師養成講座を、四月にサナモア光線治療院にて開講します。本年も昨年同様、光線治療師の養成を行います。まだ心臓可能で、受講日数が六日間から四日間となります。また心臓可能で、回より、地方からの参加者に配慮してカリキュラムが変更となります。

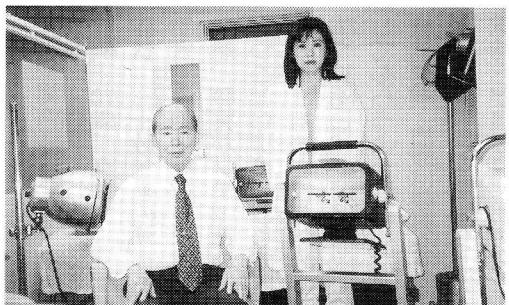
日時 .. 四月二十一日(土)
場所 .. 三階会議室
午後二時

「光と熱研究会」のお知らせ
第五回
医療に関連した話題の講演や
治験例の報告を中心とした研究会を開催していますので、一般のサナモアご愛用の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

第四期サナモア光線治療師養成講座を、四月にサナモア光線治療院にて開講します。本年も昨年同様、光線治療師の養成を行います。まだ心臓可能で、受講日数が六日間から四日間となります。また心臓可能で、回より、地方からの参加者に配慮してカリキュラムが変更となります。



橋本由美子先生



上野健太郎先生と尾崎郷子先生

治療
予約制

一言 .. 昭和二十四年、先代の上野貞が宇都宮義眞先生の御指導と後援によって、光線治療所を現在の場所に開設。以来、半世紀を越えてサナモア光線による治療と相談・指導を通して光線療法の普及に努め、サナモア光線治療器とカーボンの販売を業として今日に至る。

サナモア便り
vol.5

宇都宮 正範

開講日程	
4月13日(金)	午前11時~午後5時
4月14日(土)	午前10時~午後5時
4月27日(金)	午前11時~午後5時
4月28日(土)	午前10時~午後5時

すので、「希望の方は至急」連絡下さい。

霧が丘治療院
(平成十二年十二月十一日開院)
電話 .. ○四五九二一八〇三
住所 .. 横浜市緑区霧が丘三一四一
交通 .. 田園都市線青葉台駅から
市営バス65系統に乗車、
中丸入口バス停下車徒歩
二分(黒沢スタジオ裏)

院長 .. 橋本由美子先生
一言 .. 光線に出会い元気をいた
だいて下さい。

ウエノ光線療研(有)
(写真下)
電話 .. ○七八一三三二一三五八
住所 .. 神戸市中央区下山手通三一
五丁
院長 .. 上野健太郎先生
一言 .. 昭和二十四年、先代の上野貞が宇都宮義眞先生の御指導と後援によって、光線治療所を現在の場所に開設。以来、半世紀を越えてサナモア光線による治療と相談・指導を通して光線療法の普及に努め、サナモア光線治療器とカーボンの販売を業として今日に至る。

治療院紹介

このコーナーでは、新規に光線治療院を開業された先生方や、既に開業されてご活躍中の先生方を紹介させて頂いております。

募集

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、
サナモア光線療法の普及に
ご協力頂ける方、治療院の
開業を検討なさりたい方は、
お問い合わせください

サナモア光線治療院

〒153-0063
東京都目黒区目黒1-23-11
TEL (03) 5759-3710
FAX (03) 5759-3720

サナモア青森大会

主催 みちのくサナモア光線療法愛好会
共催 みちのくサナモア光線療法研究所

平成13年2月11日、サナモア青森大会が青森市文化会館に於いて開催され、宇都宮光明氏より「光線療法と薬物療法の相違点」に関する講演があり、木村守一氏よりアトピー性皮膚炎を克服した体験が発表されました。ここに木村守一氏の体験発表の要旨と山田貴子氏のアトピー性皮膚炎との壮絶な闘いを記した体験記を掲載します。

皮膚科医の指示とは逆のことをして、アトピーが良くなりました。

木村 守一 34歳



木村守一氏の体験発表

小学校の三年生頃から皮膚の軟らかいところにアトピー性皮膚炎が出来、薬局で塗り薬を買い塗布していましたが、症状が悪化したため病院の体質改善や塗り薬を塗る治療を受けました。しかし一向に良くならず、病院を数ヶ所変えて駄目で、漢方薬、民間療法に手を出しても、また悪くなつて病院に通うといった悪循環を繰り返していました。

約二年半位前に看護婦さんの紹介でサナモア光線療法を知り、思い切って治療を受けることにしました。その頃は顔と首の症状が特にひどく、週一回から二回治療院に通い四台から五台で紫外線量の少ないカーボンから照射し、後から「はつらつさん」

を購入して自宅で毎日照射するようにしましたが、長期に使用したステロイド軟膏の影響で首から黄色い分泌物が出続けました。辛抱して約十ヶ月程でようやく分泌物が治まり、首の黒ずんだ皮膚がはがれ落ちて綺麗になりました。顔の方は乾燥した肌でしたが、今では自家製の油分が出るまで回復しています。

皮膚科の先生は、日光に当たるな、汗をかくなと必ず言いましたが、私は逆のこと、即ち光線に当たることでアトピーが良くなった体験から、現代医学とは何なのかと疑問に思っています。確かにステロイド軟膏を使うと一時的には良くなります。止めれば再発し、骨を溶かすというような重大な副作用があるからです。

最後に、私は自分自身の体験を通して、アトピー性皮膚炎で苦しみ悩んでいる方々に光線療法を勧めたいと思います。最初は皮膚症状は悪くなります。が、それは必ず良い結果が出ます。この真実を教えてくれた最高の名医、太陽と、親身になって治療をしてくれた(有)みちのく光線

療法研究所のサナモア光線治療院の先生方に心より感謝しています。

病院の薬をきっぱり止め、地獄の苦しみを経て治る確信を得ました。

山田 貴子 30歳



光線療法開始直後

私がサナモア光線療法を始めた切っ掛けは知人の紹介です。丁度その頃、二歳から二十数年患っているアトピーで通院している皮膚科の治療法に不安を感じ始めている時期だったのですが、それでも薬を飲み続け、軟膏を塗り続け、頭から足の先ま

で薬漬けになっていました。薬を使っている間は肌はキメ細かく綺麗になるので、アトピーが治るように思っていましたが、炎症を抑えるだけと聞いてとてもショックでした。病院からは、運動で汗をかくこと、温泉、日光浴を禁止され、ストレスを感じていました。また最近は挿いた傷口が膿むと治りにくくなっています。そこで、服用したステロイドで免疫力が落ちていたのです。もう一つ不安だったのが、皮膚科で「妊娠したら服用薬を止めよう」と言われ、子供はどうなるのだろうという事でした。これまでに体の中に蓄積していた。(これまでに体内に蓄積した)。(六ページへ続く)



光線療法五ヶ月後

(五ページから続く)

たステロイドの影響はどうな
か、私と同じアトピーで薬漬け
になるのか、急に怖くなる時も
ありました。

そんな生活の中で光線療法を
紹介されたのですが、最初は全
然汗が出ず、アトピーが治ると
は信じていませんでした。病院
とは一転した治療法に不安でし
たが、もしかしてという気持ち
一心で光線療法を受けることに
したのです。その日から病院の
薬はきっぱりと止めましたが、
数日後、光線と薬のリバウンド
で皮膚がボロボロむけ始め赤く
腫れていきました。顔は目の上か
ら腫れ、外出られないため会
社から長期休暇をもらい、地獄
のような痒さとの苦闘の日々が
始まりました。

二ヶ月が経ち、皮膚の状態は
最悪になりました。私は前にも
増して一層不安になり、泣いて
ばかりいました。顔は唇のライ
ンがわからない程赤く腫れ、汁
が出て、鏡を見るのが怖くなり
ました。首や足からも搔いては
上がりつま先の骨も見えない程

でした。その時は病院に行くか
という話も出て、東京の宇都宮
光明先生の御指導を頂いたりし
ました。とにかく搔くなどいう
のが皆の口癖になりましたが、少
しづつ肌が軟らかくなっています。
自分で多く使った所の皮膚がむけ
て裂け、服にべったりと張り付
き、不安で病院の薬に手を出し
そうになりました。一方でステ
ロイドのせいで血管も細くなっ
ていたようで、異常に寒さを感
じ、暖房をつけても震える程寒
いのです。そんな中、治療院に
通いながら家でも顔を20分、腹
部を1時間、足を1時間という
感じで、毎日光線を照射し続け
ました。

三ヶ月目になって少し黄色い
汗ですが発汗するようになり、
顔の赤みや腫れが引き、搔いて
も汁が出ない強い肌になってしま
りました。辛かった日々が嘘のよ
うで、初めて治ると実感できだ
しました。両親にも私も笑顔が
戻り、精神的にも何ともいえな
い解放感がありました。四ヶ月
で仕事に復帰しましたが、痒み
もなく、かさぶたがはがれてビ
ンク色の元の肌より綺麗な肌に

なり、冷え性もなくなりました。

現在、五ヶ月目に入りました

が、ステロイドを使っていました
んで信じられない位、確実に少
しづつ肌が軟らかくなっています。
顔もゴワゴワした肌から化

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験し
たいと信じられないところ
がありますが、実際に効果
を体験した体験記ほど説得
力のあるものはありません。
ついては体験記をお送りく
ださいますよう、お願いい
たします。

そして苦労をかけ心配をかけ
た両親といつも励まして頂いた
(有)みちのく光線療法研究所のサ
ナモア光線治療院の先生方に感
謝の気持ちで一杯です。本当に
有難うございました。

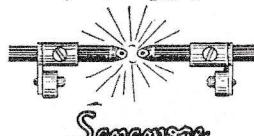
サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康
を増進する自然の恵みの源泉であり、生命
力を高めて病気の予防、治療に効果がある
との観点に立ち、太陽光線に近似したフル
スペクトル光線を放射するサナモア光線療
法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民
の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法
に対する認知と評価を高めるため、
一、季刊紙「健康と光線」の発行。
二、サナモア光線治療師の募集と育成。
の事業を行います。

医学博士 宇都宮 光明

〒103-0063 東京都目黒区目黒4-6-18
「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。
サナモア光線協会 TEL(03)3793-1518
（本紙の無断転用を禁止します。）

サナモア



サナモア光線協会

趣意書